

# ぐるり39

～自治調査会だより～

2024

4

NO. 127

[発行日]  
2024.4.1



4月上旬からミツバツツジやソメイヨシノ、枝垂れザクラ、菜の花が咲き乱れ里山一帯が鮮やかに彩られます。

【写真提供】あきる野市(第13回秋川渓谷観光デジタルフォトコンテスト応募作品『山寺の春』) 【撮影場所】乙津花の里(龍珠院)

## Contents 4月の内容

- ▶ 2024年度 自治調査会の主な事業 …… 2
- ▶ みどり東京・温暖化防止プロジェクト 2024年度事業概要 … 3
- ▶ 2024年度 調査研究テーマについて …… 4
- ▶ 東京都施策PR …… 6  
「地域との縁づくりプログラム」はじめました!  
【奥多摩町・新島村】
- ▶ オール東京62市区町村共同事業  
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 … 8
- 武蔵野市 第16回むさしの環境フェスタ
- 三鷹市 三鷹市温室効果ガス総排出量等実態調査  
日の出町 資源集団回収推進事業
- ▶ 多摩交流センターだより  
・広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介(イベント案内) … 9  
奥多摩セラピーウォーク  
市民が作り出すお芝居の世界
- ▶ 多摩・島しょ にとっておき歴史発見 ～あきる野市～ … 10



◀ 当調査会のホームページに  
バックナンバーも掲載して  
います。ぜひご覧ください。



◀ 「TAMA ebooks」にも掲載して  
いただいています。「ぐるり」で  
検索のうえ、ご覧ください。



公益財団法人

東京市町村自治調査会



# 2024年度 自治調査会の主な事業

2024年度も、当調査会は、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題の調査研究など、市町村の振興に寄与する事業を次のとおり実施します。

## 1. 調査研究事業

- 持続可能な地域公共交通に関する調査研究
- 多摩地域における都市農業の課題と活用に関する調査研究
- 地域の未来予測を踏まえた多様な主体との広域的な協働のあり方に関する調査研究  
【大学との共同研究】（2年間で実施）
- かゆいところに手が届く！多摩・島しょ自治体お役立ち情報  
※調査研究内容の概要は、本紙4・5ページをご覧ください。

## 2. 実態調査事業

- 多摩地域ごみ実態調査（毎年度実施）
- 多摩・島しょ地域データブック（毎年度実施）
- 市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標（毎年度実施）  
※概要は、本紙5ページをご覧ください。

## 3. 共同事業

### (1) 39市町村共同事業

東京都市長会・東京都町村会と連携し、「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」を実施します。

### (2) オール東京 62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

都内62市区町村が、東京のみどりの保全や温室効果ガス削減について連携・共同して取り組めるよう、次ページの事業を特別区長会・東京都市長会・東京都町村会・(公財)特別区協議会とともに実施します。

### (3) 協賛事業

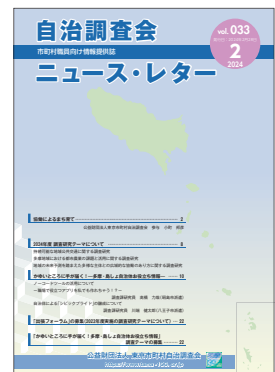
島しょ地域の子どもたちを対象に毎年実施される「愛らんどリーグ(サッカー大会)」に協賛します。

## 4. 普及啓発事業

機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」やホームページ (<https://www.tama-100.or.jp>) などを活用して当調査会の活動内容を周知するとともに、多摩・島しょ地域に関する情報を発信します。

また、調査研究の成果などを広く周知するために、シンポジウムを開催するとともに、2023年度に実施した調査研究について、多摩・島しょ地域の市町村に出向いて職員向けに調査研究結果のプレゼンテーションを行う出張フォーラムを実施します。

さらに、市町村職員に向けた行政課題に関する情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」を発行します。



◀ ホームページ

## 5. 広域的な市民活動支援

### (1) 交流の場の提供事業

広域的な市民ネットワーク活動の推進と市民の交流を図るため、広域的な市民活動を行っている登録団体に交流の場（会議室、備品等）を提供するとともに、市民団体の広報活動を支援します。

### (2) 助成事業

#### ① 事業助成

市町村の枠を越えた広域的市民ネットワークを形成している団体が実施する地域づくり、まちづくりにつながる活動や、市民団体が主体的に取り組んでいる西多摩地域の振興活動に対し、経費の一部を助成します。

#### ② 活動支援

広域的な市民ネットワーク活動を新たに行いたい、発展させたい市民団体に対し、経費の一部を助成します。

### (3) 共催等事業

多摩地域の広域的な市民の交流や新しい生涯教育の推進を図るため、市民団体等と共催し、「TAMA市民塾」「多摩の歴史講座」「TAMA-3Rフォーラム」などの事業を実施します。

### (4) 情報発信事業

機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」やホームページ(前ページ参照)で、多摩交流センターに係る情報を発信します。



オール東京62市区町村共同事業

## みどり東京・温暖化防止プロジェクト

2024年度事業概要

本事業は、東京で暮らす私たちにとって大きな課題である温室効果ガスの削減やみどりの保全について、東京都内の全62市区町村が連携・共同して取り組む事業です。各市区町村や地域の特性に応じた自然環境の保護、地球温暖化対策を推進します。

スタートから18年目となる2024年度は、2021年度から2023年度までに実施した事業の検証及び今後の事業の検討をもとに、近年の環境情勢や国の環境施策の動向等を踏まえながら、次の6つの事業を実施します。

### 【2024年度事業】

①標準算定手法による温室効果ガス排出量算定の共有化推進	○62市区町村の温室効果ガスの排出量を算定し、その結果を公表します。 ○各市区町村のデータ活用を支援します。
②各団体の実施する事業との連携	○62市区町村の実施事業に、1市区町村100万円を限度として助成します。 ○市区町村の成果をホームページ上でPRしていきます。
③ホームページの維持管理・コンテンツの充実	○ホームページ「ECO ネット東京62」を適宜更新し、「環境事業紹介」「環境インフォメーション」等のコンテンツを充実してオール東京62市区町村共同事業の普及・啓発に努めます。
④気候変動対策支援事業	○2023年度まで実施した「気候変動対策に関する調査研究事業」の成果を引き継ぎ、各自治体のニーズや地域特性を踏まえたテーマ設定や対策の具体化を図り、市区町村の取組の支援を行います。
⑤オール東京62環境担当者研修会	○各団体の実状やニーズに配慮し、複数のテーマを用意します。 ○情報共有の場を設定するとともに、地理的要因によらず、参加者が積極的に参加できるよう、リモート方式等を活用し、講義や、ワークショップ、グループワーク、事例紹介等により研修を実施します。
⑥市区町村等主催イベントでのPR、普及啓発展示	○62市区町村等が主催するイベント等で、当プロジェクトの事業のPRやCO <sub>2</sub> 削減につながる活動の普及啓発を行います（15回程度/年）。

本事業は、(公財)東京都区市町村振興協会からの助成金により、主催＝特別区長会・東京都市長会・東京都町村会、企画運営＝(公財)特別区協議会・(公財)東京市町村自治調査会で実施しています。

詳しくは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのホームページ「ECO ネット東京62」(<https://all62.jp/>)をご覧ください。

ホームページ▶



2024年度

# 調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通の課題を中心に、年度毎にテーマを複数選定し、調査研究を実施しています。調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ホームページ (<https://www.tama-100.or.jp>) にも掲載し公開しています。

2024年度については、3件の調査研究実施を予定しており、今回はその概要を紹介いたします。

## 持続可能な地域公共交通に関する調査研究

鉄道、バス、タクシーなどの地域公共交通は、地域住民や観光等で地域に訪れた人にとって、必要な移動手段です。

しかし、近年、人口減少やライフスタイルの変化などによる利用者の減少のほか、運転手不足や運行コストの上昇などに伴い、運賃の値上げや減便、路線廃止が検討されるなど、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした状況に対して、自治体として限られた財源のなかでいかに対応するかが課題となっています。

本調査研究では、地域住民等の移動手段の確保や利便性の向上を念頭に、国や東京都等の交通・観光分野の支援策の取組状況を整理した上で、自動運転車やデマンド交通の導入など先進的な取組をする自治体の事例を調査し、持続可能な地域公共交通の検討に資することを目指します。

## 多摩地域における都市農業の課題と活用に関する調査研究

2017年度調査研究『多摩地域における都市農業の保全と振興に関する調査研究』では、市街化区域内農地を中心に都市農業の保全と振興に関する提言を行いました。

その後、農地法等の一部改正によって、耕作放棄地における対策が強化されるなど、自治体には地域住民、農業委員会、農地中間管理機構などの多様な主体と協働した対応が一層求められています。

また、農地のあり方においては、地産地消・グリーンインフラ・新たな価値を創造するオープンスペース等の多様な事例も蓄積されています。

本調査研究では、このような前回調査研究からの変化を踏まえ、多摩地域の農地の現状や課題を整理した上で、都市農業の多様な機能に着目した新たな取組を調査し、都市農業の保全はもとより、都市農業を活用したまちづくりの推進に寄与することを目指します。

## 地域の未来予測を踏まえた多様な主体との広域的な協働のあり方に関する調査研究 【大学との共同研究】(2年間(2023-2024)で実施)

急速な少子高齢化を伴う人口減少やインフラの老朽化などにより、自治体を取り巻く環境は一層厳しくなっていくことが予想されています。

こうした状況において、様々な地域課題を解消し、ウェルビーイングなまちづくりをしていくために、各自治体には、自治体間での協働はもとより、地域社会を支える住民組織、企業、大学等の多様な主体とも協働し、貴重な資源を効果的に活用した広域的な取組を展開していくことが期待されます。

本調査研究は、変化が著しい社会情勢を踏まえ、将来を見据えた上で、多摩・島しょ地域自治体の特性を活かした、多様な主体との広域的な協働のあり方について、提案することを目指します。

### 毎年度調査

当調査会では、上記の調査研究に加え、39市町村における行財政運営の参考となるように、各種統計資料を毎年度作成しています。

2024年度についても、以下のデータ集を作成し、上記の調査研究と同様に配布・公開する予定です。

#### ○多摩地域ごみ実態調査

多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的な統計データ集を作成します。

#### ○多摩・島しょ地域データブック

今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」「産業」「都市基盤」など主要な統計データ集を作成します。

#### ○税・財政参考資料

39市町村における、財政力指数・公債費比率・経常収支比率等の分析指標及び市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。



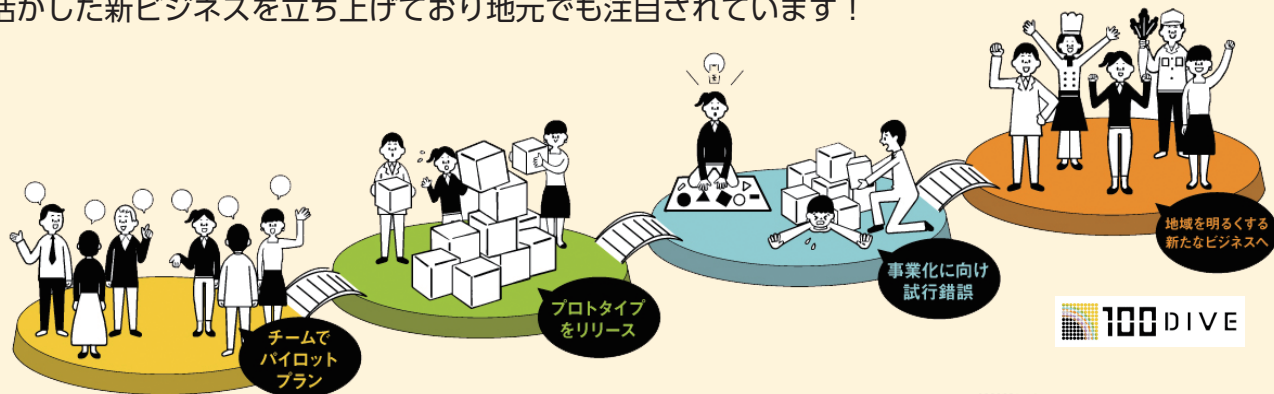
## 東京都施策PR

## 「地域との縁づくりプログラム」始めました!

奥多摩町・新島村

## 2023年度から始まった、「地域との縁づくりプログラム」って何?

- 東京都が実施している、島しょ山村地域に関係人口（地域と多様に関わる人々）を生み出す事業です！
- 2023年度は、奥多摩町・新島村の地域課題を解決するため、全国から地域や社会貢献に興味がある方を募って地元参加者とチームをつくり、住民と対話しながらフィールドワークを行い、新ビジネス創出を目指しました。
- 新島村では、参加者が2拠点生活を開始し、地元の方と協力して農産品を活かした新ビジネスを立ち上げており地元でも注目されています！



## 奥多摩町・新島村が提示した地域課題に対して、各チームが新ビジネス案を提案

- 1自治体あたり3つチーム<sup>\*</sup>を結成(2023年8月) ※1チーム5人程度で構成  
それぞれが3か月かけて新ビジネスを検討し町村に提案
- 町村は、各チームから提案されたビジネス案のうち1つを採択(2023年10月)
- 東京都は、採択されたビジネス案の自走化に向けて継続的に支援(2023年度内)

## 奥多摩町

「空き家」を活用した付加価値1500万円以上の  
新規ビジネスを創出せよ！

奥多摩町

Tama

## 《地域課題》

空き家はあるけれど、使える状態ではないのが課題。新しいアイデアで空き家を資産として生かす方法を新規ビジネスとして提案してほしい。

## 《3つのチームから提案された新ビジネス案》

- ① 古民家を滞在型交流拠点、空き家を趣味の宿として活用する宿泊事業
- ② 地域とつながれるカフェを拠点とした空き家管理・マッチングサービス
- ③ 空き家を、自然を感じられる癒しの施設や店舗兼住居にリノベーション



【空き家】

## 新島村

島の特色ある農産品を活用した付加価値1000万円以上の  
新規ビジネスを創出せよ！

Tokyo  
Islands

新島村

## 《地域課題》

特色のある豊かな農産物があるにも関わらず、年々農業に関わる担い手が減少。そこで、魅力ある農産物の付加価値を高める流れを生み出し、より多くの人に知ってもらいたい。

## 《3つのチームから提案された新ビジネス案》

- ① 美に特化した観光業を取り入れた農業・体験業・宿泊業（詳細は次ページ）
- ② スキマ時間による農作業機会のコーディネート及び提供
- ③ 地元の農作物を使用したメニューを販売するキッチンカーの展開

※下線が採択されたビジネス案



【農産物】

## ▶新島村における新ビジネスをご紹介！

### 美に特化した観光業を取り入れた農業・体験業・宿泊業！

島内に多く存在する耕作放棄地を開墾し、明日葉等の農作物を生産・販売するだけでなく、新島村の強みである観光業を取り入れて、農作物を使った「美」をコンセプトとする自然体験や宿泊サービスを新たに提供

#### 農業

耕作放棄地を徐々に開墾

- ・明日葉、アメリカ芋、さつまいもを栽培
- ・海藻の陸上養殖



#### 体験業

「美」に特化した自然体験

- ・自然と触れ合うことで心身共に美しくなるピクニックランチ
- ・明日葉スチームサウナ
- ・抗火石蒸し



#### 宿泊業

「美」コンテンツを売りとしたコンセプト宿運営

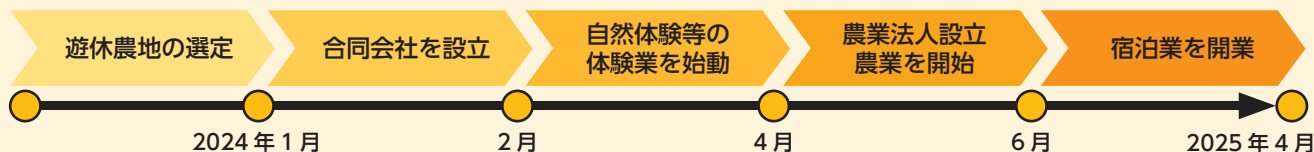
- ・農業と自然体験ツアー等を活用した宿業



【フィールドワーク】

農産品の付加価値向上

#### <スケジュール>



#### <参加者の現在の状況>

新ビジネスを始めるため、島で合同会社を設立し島外参加者が島と内地との2拠点生活を開始！

## ▶新島村で住民向け発表会を開催

2024年2月10日(土)に、各チームメンバーや住民、村職員、都職員100人程度が参加して、ビジネス案の発表や住民との意見交換を実施しました。

#### <参加者・住民からの主なご意見>

- ・今回できた仲間や色々教えてくれた新島村の先輩と協力しながら事業を進めていきたい。
- ・このプログラムを通して参加者が島に来てくれて、新島村のファンが増えた。
- ・今後の新ビジネスにかなり期待してワクワクしている。頑張ってください！



【発表会当日の様子】



※発表会当日の様子(動画)はこちら▶

## 東京都がなんで関係人口の創出に取り組んでいるの??

多摩・島しょ地域の一部では、既に人口減少が始まっています。そのため、東京都は、2022年度から、移住定住の促進や関係人口を創出する取組を強化しています。

#### 【東京都の主な取組】

##### 2022年度

- ・「東京多摩島しょ移住定住相談窓口」を有楽町に開設
- ・「東京たましま移住定住ポータルサイト」の開設



▲相談窓口 HP



▲ポータルサイト

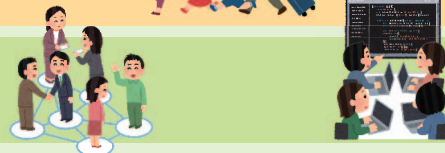
##### 2023年度

- ・「多摩島しょ暮らし体験ツアー」「移住定住フェア」の開始
- ・「島しょ山村地域における地域との縁づくりプログラム」の開始



##### 2024年度

- ・「多摩島しょ地域交流ワーケーション体験ツアー」を開始予定



問合せ先

東京都総務局行政部振興企画課多摩島しょ移住定住促進担当

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第一本庁舎13階北側 TEL 03-5388-2406





オール東京62市区町村共同事業

# みどり東京・温暖化防止プロジェクト

## 市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対し、助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

シーナ



かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

### 1 武蔵野市 第16回むさしの環境フェスタ

第16回むさしの環境フェスタは、市民一人ひとりの環境配慮行動の促進と、市民団体や事業者の環境に関する活動や交流の促進を目的として、2023年11月19日に開催しました。

当日は、むさしのエコレゾートに27団体が集まり、地球温暖化やエネルギー、廃棄物、自然環境等、さまざまなテーマについての展示やワークショップを行ったほか、イラストレーターのキン・シオタニさんに講演していただきました。夕方には、保育園児等が作成したランプシェードを飾ってキャンドルナイトを実施しました。当日は開館以来最多の約5,800人の方にご来場いただきました。

【問合せ先】武蔵野市 環境政策課 TEL 0422-60-1945



### 2 三鷹市 三鷹市温室効果ガス総排出量等実態調査

三鷹市は2022年12月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。2023年度は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国の動向を踏まえ、温室効果ガスの削減目標、将来の脱炭素の方針を検討し、「三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」の改定を行いました。

そして、実行計画の進捗状況を把握すべく、三鷹市における温室効果ガスの排出量の実態を毎年調査し公表することから、2023年度においても調査を実施しました。今後も、さらなる温室効果ガスの削減に向け取組を進めていきます。

【問合せ先】三鷹市 環境政策課 TEL 0422-29-9612



### 3 日の出町 資源集団回収推進事業

日の出町では、「ひのでごみゼロゼロ大作戦 21推進協力会委員」を中心に、町内の自治会、PTA、福祉施設で資源集団回収を行っています。この事業は30年以上続く活動で、ごみの減量・地球温暖化防止の取組として、積極的に資源回収を実施し、「混ぜればごみ、分ければ資源」「捨てればごみ、生かせば資源」をモットーに行っています。

子どもの頃から資源集団回収に携わることで、世代を超えた地域交流の役割も担い、次世代の地域リーダー育成にも役立っています。今後ごみの減量・資源化を推進し、地球温暖化防止に取り組んでいきます。

【問合せ先】日の出町 生活安全安心課 TEL 042-588-5068







# 多摩交流センターだより

## 広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介(イベント案内)

### 奥多摩セラピーウォーク

**日時** 2024年4月27日(土)から2024年5月6日(月)までの10日間  
**受付場所** JR 奥多摩駅前  
 ●受付及び参加賞の引換は各日午前8時30分から午後5時までとなります。受付をし、スタンプラリーの台紙を受け取りスタートしてください。

**コース内容** JR 奥多摩駅～奥多摩むかし道～奥多摩湖(約10km 約4時間)  
 奥多摩町は都内で初めて森林セラピー基地として認定され、コースとなっている奥多摩むかし道は町内にある5つのセラピーロードのうちの1つとなります。今も随所に昔のままの姿が残されており、古い民家や道祖神、馬頭観音などに江戸時代の面影薫る旧青梅街道をたどるハイキングコースです。コースの途中に3箇所スタンプラリーのポイントを設置しておりますので、あわせてお楽しみください。

**参加費** 無料(事前予約不要)  
**主催** 奥多摩セラピーウォーク実行委員会  
**問合せ** 奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局(奥多摩町役場観光産業課内)  
 TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344  
 ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/gyosei/index.html>



### 市民が作り出すお芝居の世界

**日時** 2024年4月20日(土)13時～/18時～  
 21日(日)12時30分～/16時30分～  
**場所** 武蔵野芸能劇場 小劇場 (〒180-0006 東京都武蔵野市中町1丁目15番10号)  
**内容** 大人になっちゃってなんかあれ?なピーターパン。ちょっと頼りないけど、さあ!一緒にネバーランドへ行こう!大人も子どももみんなで楽しむ歌って踊る不条理音楽劇です!一般公募で集合してくれた多摩で暮らす仲間たちが、みんなで力を合わせ、現役プロフェッショナルな演出チームのもと、エネルギーあふ舞台で大活躍します。皆様もぜひ客席からこの冒険にご参加ください!  
 「体にビタミンが必要なように子供たちには冒険が必要なんです」  
 劇場でお待ちしております!

作品:「さらって行ってよピーターパン」 作:別役実  
 演出:針谷理繪子  
 出演:多摩地域に暮らす仲間たち... 他

**入場料** 3,800円(前売り) / 4,000円(当日)  
**U-15チケット** 2,000円(前売り限定)  
 ※チケットの購入はご予約制になっております。必ずお問合せの上、劇場へお越しくださいませ。

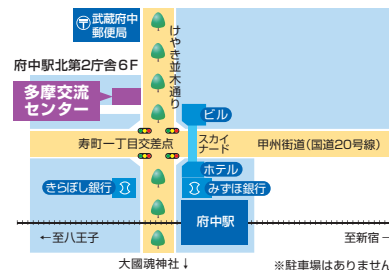
**主催** 劇団 芝居屋楽屋  
**問合せ** 劇団 芝居屋楽屋 TEL 090-6174-7075  
 メール [i.a.main.note@gmail.com](mailto:i.a.main.note@gmail.com)  
 ホームページ <https://shibaiyagakuya.jimdosite.com/>



### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター  
 〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第2庁舎 6F  
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127  
 ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。







多摩・島しょ

history of tama & tōsho

# とっておき歴史発見

第37回 あきる野市



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『深沢家屋敷跡』と『阿伎留神社』を紹介するよ。

## 深沢家屋敷跡



五日市の自由民権運動におけるリーダー的存在である深沢家の屋敷跡で、この土蔵から「五日市憲法草案」が約1万点の資料とともに発見されたんだって。

当時、五日市地域で民権運動の中心となっていた豪農民権家の生活の様子を推定しうる遺跡として高く評価されて、東京都の史跡に指定されているよ。



## 阿伎留神社



平安時代初期に書かれた「延喜式神名帳(えんぎしきじんみょうちょう)」という神社の名簿において、武蔵国多摩郡八社の筆頭にあげられている古社なんだ。

毎年9月28～30日に執り行われる例大祭は、あきる野三大まつりの一つに数えられ、百貫(375kg)を超える六角神輿が五日市の町を練り歩くよ。



### 【現地案内】

- ◆ 深沢家屋敷跡  
(あきる野市深沢7)

#### 〈アクセス〉

- ・ JR五日市線武蔵五日市駅から徒歩50分

- ◆ 阿伎留神社  
(あきる野市五日市1081)

#### 〈アクセス〉

- ・ JR五日市線武蔵五日市駅から徒歩15分

### 【情報・写真提供】

あきる野市観光まちづくり推進課 042-595-1135



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

【発行日】2024年4月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実  
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068  
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています